

平和堂HATOスタジアムにおける応援等のあり方にかかる
令和6年度住民説明会（R7.3.6）
質疑応答の概要

参加者

- 周辺自治会長および近隣住民
- 滋賀県スポーツ課
- 彦根市Jリーグ誘致推進室

- ・ 本日の説明会は、この場でルールを決めるという協議の場なのか、県が説明する場なのか。
 - （県） 本日は、県が検討し定めたルールを説明させていただき趣旨で開催させていただいた。
- ・ どのようにルールを適用・主催者に周知させていくのか。
 - （県） 具体的には、予約受付の段階や大会主催者等との打ち合わせの時点で、ルールを周知する。仮にルールを守れていない場合は、すぐに是正指示を行っていく。
- ・ 測定した大会等の観客数はおよそどの程度だったのか。
 - （県） JFLだと平均2800人。陸上だと参加者を含めて1000人台。
- ・ 県や市は観客動員を増やすことを目指していると思うが、今後動員数が増えたことを見越したルールとしているのか。
 - （県） 具体的に何人という緻密な計算は出来ていないが、そういったことを視野に入れながら検討した。一方、新しい楽器の登場など応援文化が変動するなどといった場合には、改めてルール検討させていただこうと考えている。
- ・ 今後も測定は継続していくのか。
 - （県） 1年間測定してきた実績があることから、この規模の大会では基準値を超えないということが概ね分かるため、毎試合測定することはないが、管理者として事前にイベント内容は把握しているため、状況の変化には迅速に対応できるように運用でカバーしていきたいと考えている。
 - （市） 開幕戦やリーグのポイントになる試合などは、事前にある程度観客が多くなるということが分かる。そういった場合には県とも相談しながら進めていきたい。
- ・ 応援の音を騒音と思うのか、活気があると思うのか感じ方の違いなので音量の問題ではないかと思う。制限をかけるというよりかは、地域住民が大会等に良い印象を持てるようなイベントが開催される等の取組が重要だと思う。
 - （県） スタジアムの盛り上がり方としても、応援の音ももちろん指標の一つであるが、公園部分でのマルシェ的なイベントに多くの人に参加するといった「お祭り感」も盛り上がりの指標の一つと考えている。そのようにスタジアムだけでなく公園全体や地域として盛り上げていきたいという思いがある。
- ・ 楽器を禁止することが応援に水を差すとは思わない。今回、スネアドラム等は禁止なのか。

→ (県) スネアドラムや小太鼓というものは応援に必要な物と認識しており禁止していない。

- ・住宅地に近い場所にスタジアムを建てた以上、住民の意見を聞きながらルール改正を検討すべきと感じる。

→ (県) 今回の説明会では、楽器の制限に関して賛否双方のご意見を頂いている。このスタジアムを整備したのは、県民にスポーツに触れてもらうことも前提としており、プロスポーツを見てもらうというものがある。サッカーの応援文化の一つとして楽器を使用した応援というものがあり、そうしたものも体験していただきたい。また、騒音と感じるという意見に対しては、応援文化の趣旨を損なわない範囲で可能な限りの配慮をしていこうと考えている。

- ・音響設備に関して、音が漏れるのは仕方ないと思うが、先日のイベントでは必要以上に音量を出していた気がする。

→ (県) 当然、スタジアム内の観客に聞こえる必要はあるが、過大な音量である必要はないので、そういった場合は大会運営の中で周辺住環境に配慮しながら施設運営をしていくので、またご意見いただきたい。

- ・測定時の瞬間的に 80dB を超過することはあったか。

→ (県) 瞬間的に発生することはあったため、一定のルールを定めた。また、今後同様に 80db を超過することが繰り返す場合は改めてルール検討を行う。

- ・楽器等の使用を制限するのではなく、ハード面での対策をとることは想定されているか。

→ (県) 大会趣旨を損なわずして周辺への配慮が可能となると考え、今回、このようなルールを検討させていただいたため、現時点ではハード面での対策は予定していない。

→ (市) 市としても、HATO スタやレイラックというチームを契機に住民と一緒に地域を盛り上げていくことが最も重要と考えている。チームのカテゴリが上がったり、地域に根づいて地域の誇りとなることで、住民側から制限を緩和してほしいという声があがるような状況が理想的ではあるが、現在は騒音苦情の意見を頂いている状況。

- ・また今後も騒音の測定を継続し、データとして示して欲しい。

今回のような地元の意見を聞く場を定期的で開催する必要があると思う。

→ (県) 定期的という訳ではないが、新しいルールを策定しその結果どうだったのかといった説明会については、今後開催させていただければと思う。